

緑の風 FAX版

NO. 9

2014年10月3日

JR東労組
本部情宣部

たしろかおる参議院議員 参議院本会議で代表質問に立つ！



民意を無視し続ける安倍政権を追及！

10月2日、JR東労組組織内議員・たしろかおる参議院議員は第187臨時国会において、安倍首相の所信表明演説に対する代表質問を行いました。

質問の冒頭、7月1日に閣議決定を行った集団的自衛権行使容認について「国民の声に一切耳を傾けず、生命・財産に関わる極めて重要な事項を決定した」と厳しく指摘し、閣議決定の撤回を求めるとともに、行使容認に向けた法整備に対する安倍政権の姿勢を指摘しました。

また、川内原発再稼働についても言及し、福島第一原発事故が収束していない中、御嶽山の噴火などによる火山活動や地震などもふまれば再稼働は断念すべきだと述べました。

女性の働き方についても、育児休業期間が1年しかなく、子どもが小さいと預ける保育所が無いために退職を余儀なくさせられている女性が多くいることを訴え、育児休業の延長を図る法整備などをすすめ、女性の復職支援について積極的に行うべきだと主張しました。

その他にも、安倍政権の外交姿勢や沖縄米軍再編問題にも触れ、市民・労働者の立場に立って安倍政権の推し進めようとしている政策課題についての問題点や政府の見解を問い質しました。

たしろかおる参議院議員をみんなで応援しよう！